

会 議 録

1 会議名

平成28年度第1回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 諸事項の確認について（公開）
- (2) 会長・副会長の選任について（公開）
- (3) 地域協議会の運営等について（公開）
- (4) 地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成28年5月19日（木）午後6時から午後9時まで

4 開催場所

津有地区公民館 2階 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：江平幸雄、太田政雄、小熊勇治、清水昇一、中嶋博、服部香代子
古川昭作、保坂和彦、丸山常夫、宮越隆一、山管節子、吉崎則夫、
渡部稔 （欠席1人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事
自治・地域振興課：佐藤課長

8 発言の内容（要旨）

【小林主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

【山田センター長】

- ・ 挨拶

【自治・地域振興課：佐藤課長】

- ・挨拶

— 自治・地域振興課 佐藤課長退席 —

【山田センター長】

- ・議長決定まで進行を務めることを報告
- ・委員自己紹介

【江平委員】

このような委員は初めてなので、不安な部分もあるが、皆さんに教えていただきながらやっていきたいと思う。

【太田委員】

出身は牧区で、津有区に来てから40年が経った。消防署で40年程勤めていた。今は保育園に勤務している。地域協議会委員は初めてで、分からないことも多いが、皆さんと一緒にやっていきたいと思う。

【小熊委員】

私は虫川地区の町内会長をやらせてもらっている。虫川は津有区が一番北に位置している。戸野目小学校、雄志中学校を卒業し、ずっとここで生活している。何とか皆さんの役に立ちたいと思う。

【清水委員】

私は第1期目の協議会委員を務めていた経験がある。しかし、地域協議会について、まだ分かっていない部分もある。皆さんと協力しながら努めていきたい。

【中嶋委員】

町内会長からの推薦もあり、委員を引受けた。初めてなので分からない部分もあるが、昨年度、地域活動支援事業に提案した際にお世話になった。少しでもお返しできるように頑張っていきたいと思う。

【服部委員】

2期目に引き続き委員となった。地域協議会については、まだ分からない部分もあるが、地域のために頑張ることはもちろん、自分のためにもなると思い、頑張っていきたい。

【古川委員】

地域協議会委員については、何をするか分からないというのが本音だ。現役で務め

もしているので、やれるところまで頑張ろうという気持ちでいる。

【保坂委員】

生まれも育ちも下野田だが、仕事の関係で単身赴任もしていたので、実は地元のこととはあまりよく知らない部分もある。地域協議会の存在は知っているが、詳しいことは全く分からない。この会場も2階に上がったのは初めてという状況だが、皆さんと一緒に地域のこれからについて考えていきたいと思っている。

【丸山委員】

今年の3月末まで勤めていたが、今は農業一筋で生活している。何も分からないので、皆さんのご指導のもとやっていきたいと思う。

【宮越委員】

今年から、野尻の町内会長も引き受けている。どこまでできるか一抹の不安もあるが、経験させていただきたいと思う。

【山菅委員】

現役でタクシーの運転手をしている。家のこともしなければいけないのだが、できる限り協力していきたい。

【吉崎委員】

私は平成町ができた頃にこちらへ来たが、以前は直江津で生活していた。数年前に地域活動支援事業の提案をした経験がある。その際は苦勞した思い出もあるが、今度は審査する立場となったので、その経験を生かし、地域がどういうことを求めるのか、どういう事したらもっとよくなるかを、皆さんと考えていきたいと思う。

【渡部委員】

戸野目で生まれ、高校卒業後に数年間離れていたが、またこちらへ戻って来た。ずっと仕事が忙しく、なかなか地域活動に参加する機会がなかった。地域協議会も名前だけは知っていて、戸野目スポーツ少年団で子どもがお世話になっていたので、地域活動支援事業を活用した経験もある。今度は自分が地域のために何ができるのかを考えながら、できるだけ皆さんと協力していきたいと思っている。

【山田センター長】

- ・自己紹介

【野口係長】

- ・自己紹介

【小林主事】

- ・自己紹介

【山田センター長】

次第4の議題に入る。なお、地域協議会は公開会議であることから毎回録音している。発言の際は挙手願う。その後、司会からお名前を指名する。

(1) 諸事項の確認について、野口係長に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料により説明

【山田センター長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

次に(2) 会長・副会長の選任について協議を行う。会長・副会長については、上越市地域自治区の設置に関する条例第6条の規定により、委員の内から選任することとなっている。まずは会長の選任をお願いする。前任の会長の選任は、委員の皆さんから推薦いただき、挙手で決定した。なお、津有区は北部地区と南部地区の地域バランスを考慮して、これまで決めてきた経過がある。

参考までに会長の役割としては、会議日程の決定、事前の打ち合わせ、会議の議事進行や意見集約の他、会長会議などの他の協議会の打合せ等もある。副会長は、会長の補佐をする。

それでは、選任方法について意見を求める。

【宮越委員】

津有区では、申し合わせ事項として、正副会長は北部地区と南部地区で交互に選出してきた経緯があるようだ。今回もそのようにしてはどうか。

【山田センター長】

他に意見を求める。

【保坂委員】

第2期目の会長が南部地区の方で、副会長が北部地区の方であったと認識している。よって、今回は北部地区から会長を、南部地区から副会長を選出することになると思う。それを皆さんに了解していただき、できればその地区の中で経験されて来られた方を優先的に推薦したいと思っているがどうか。

【山田センター長】

保坂委員から、今までの経緯をふまえて正副会長を選任してはどうかという意見だった。

会長は北部地区、副会長は南部地区から選出するというのでよいか。

(「よい」との反応)

では、その方向で決めたいと思う。それでは候補者の挙げ方だが、どのようにしたらよいか。これまでは推薦でお名前を挙げてきたが、北部地区と南部地区に分かれて話し合う方法もあるので、皆さんに意見を求める。

(「各地区に分かれて話し合う」との声)

それでは、北部地区と南部地区に分かれていただき、候補者を決めていただきたい。

【中嶋委員】

北部地区と南部地区の地域というのは、どのように分けられているのか。

【山田センター長】

戸野目小学校区と上雲寺小学校区である。

— 北部地区と南部地区に分かれて協議 —

【山田センター長】

協議の結果について報告願う。

【宮越委員】

南部地区からは、副会長の候補者として塩坪委員を推薦したい。

【山田センター長】

続いて、北部地区から報告願う。

【服部委員】

北部地区からは、会長の候補者を選出することになっているが、今の時間では選出には至らなかった。

【山田センター長】

北部地区は、会長の選出に至らなかったとのことだが、ここからは全委員で協議をしていきたいと思う。

改めて、会長の選任方法について意見を求める。

【太田委員】

これまでの経緯を尊重し、会長はやはり北部地区から選出してはどうか。

【清水委員】

私は太田委員の意見に賛成だ。第1期目は北部地区から、第2期目は南部地区からそれぞれ選出しているので、今回は北部地区から選出していただきたい。

【古川委員】

私も同意見である。

【丸山委員】

私も同意見である。

【宮越委員】

これまでの経緯を尊重していただきたい。

【山田センター長】

推薦の方法としては、南部地区の方が北部地区の方を推薦してもよいとも思うがどうか。

【太田委員】

それならば、服部委員を会長として推薦したい。服部委員は2期目であり、協議会についてよく知っていると思う。経験のある方に会長をやっていただきたいと思うがどうか。

【山田センター長】

服部委員のご推薦があったがどうか。

【服部委員】

仕事の都合もあり、会長として4年間やっていく自信がない。ここにおられる皆さんは、町内会長やPTA会長等を経験されている方もいるので、協議会の会長として相応しい方は沢山いると思う。できれば、再任だからという条件はなしで、もう一度検討していただきたい。

この場で推薦といっても、お名前を挙げにくいので、可能であれば議事を先に進めていただき、会長の選出は会議が終わった後で、もう一度協議したいと思うがどうか。

【山田センター長】

それでよいか。

(「はい」の声)

【山田センター長】

では、会長の選出については、会議閉会後にもう一度協議していただき、第2回目

の協議会の際に、会長及び副会長の選任を行うこととする。

次に（３）地域協議会の運営等について協議する。事務局に説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

座席順については名簿順でよいか。

（「はい」の声）

次に会議の必要な委員の数について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

今の説明について質疑を求める。

【保坂委員】

これまで通り、４人以上としてよいと思う。

【山田センター長】

４分の１以上、４人以上としてよいか。

（「はい」の声）

次に会議録の確認者について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

会議録の確認について、これまで通り名簿順でよいか。

（「はい」の声）

それでは、本日の会議録の確認者は名簿順により江平委員にお願いする。

次に、会議の開催時刻について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

説明のとおり、会議の開催時刻は原則午後６時３０分からとするが、その都度、委員の都合を考慮して決めるという提案があったがどうか。

(「はい」の声)

次に、会議の会場について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

会場は津有地区公民館もしくはファームセンターとしてよいか。

(「はい」の声)

次に、地域協議会だよりの発行について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

次に、地域協議会だよりの速報版の発行について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

速報版のたよりの発行について説明があったが、意見を求める。

【太田委員】

速報版のたよりは年間に何回ほど発行するのか。

【小林主事】

基本的には地域協議会の会議の回数だけ発行する。しかし、同じ協議内容が2回の会議に渡って行われる場合はまとめて1回の発行としている。また、地域活動支援事業の採択結果等、特に重要な報告がある場合は速報版ではなく、全戸配布版の通常のとよりを発行するので、速報版としては年間5～6回程度の発行を予定している。

【山田センター長】

速報版のたよりの発行に関して、今後も発行を続けることとしてよいか。

(「発行してよい」との声)

速報版のたよりをこれまで通り発行することで決定する。

次に、(4) 地域活動支援事業について事務局に説明を求める。

【小林主事】

・資料より説明

【山田センター長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

次に、提案状況について事務局に説明を求める。

【小林主事】

・資料より説明

【山田センター長】

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

次に、審査方法について事務局に説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

今の説明で、審査方法については、前任の委員が今年度の審査を速やかに進められるように予め検討し、決定したものであると説明があった。前委員が決定したとおりとしてよいか。

(「はい」の声)

次に、その他について説明を求める。

【小林主事】

・資料により説明

【山田センター長】

今の説明の通り、ヒアリングを行う第2回会議は6月7日で決定しているので、採択決定を行う第3回会議について、日程調整をお願いしたい。

(日程調整)

【山田センター長】

第3回地域協議会は6月29日木曜日の午後6時30分から津有地区公民館で開催する。

【江平委員】

6月7日のヒアリングは、全ての団体が対象なのか。

【小林主事】

全ての提案団体からヒアリングにお越しいただく。1団体の持ち時間を10分間として、その中で事業のPRと質疑応答を行う。

【山田センター長】

事務局から提案だが、次回の会議では正副会長の選任も予定しているため、会議の開始時刻を午後5時45分としたいがどうか。

(よいとの反応)

では、次回は6月7日午後5時45分から協議会を開催する。

・閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。